

玉野市立小中学校適正規模 ④ 適正配置計画

説明会（山田中学校・東兎中学校の再編）

計画HP



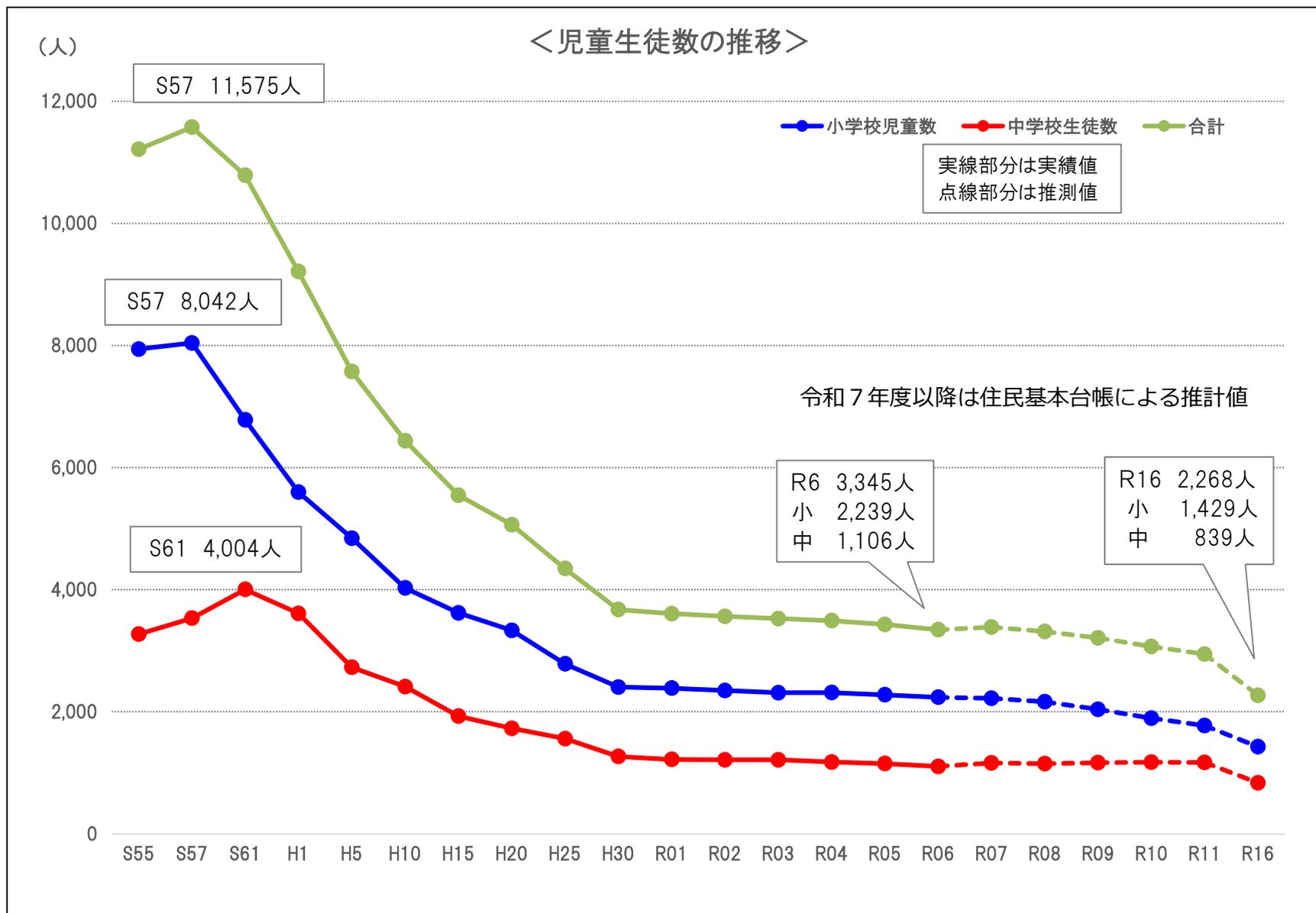
質問



令和7年6月

玉野市教育委員会

市内の児童生徒数の現状



玉野市の課題（児童生徒の減少を背景として）

☑ 学校運営

- グループ学習、運動会などの学校行事について、日常的に一定程度の規模を確保することが困難
- 「多様な考え方とのふれあい」や「多人数で力を合わせて課題解決に取り組む」のための教育環境の確保が困難
- 複式学級が生じる程度の過小規模校では、小規模校の課題が大きくなっている



☑ 学校施設

- 学校施設83棟中、54棟（65%）が昭和60年度以前に建設されるなど老朽化が進んでいる
- 将来的な在り方が決まっていない状況では、大幅な設備投資が困難（改築・大規模改修や最新の教育設備の導入など）



適正規模化の方針

計画の考え方

「玉野市の子どもたちにとって、より良い教育環境とするために、学校はどうあるべきか」という教育的な視点を第一に考える。



計画の目的

中長期的な視点をもって、学校再編を行い、新たな時代を生きる子どもたちにより良い教育環境を提供し、玉野市の教育の質を一層向上させる。



再編の方向性

【ソフト面】

一定数以上の児童生徒が在籍する学校規模が確保され、集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し、切磋琢磨しながら、一人一人が資質・能力を伸ばしていける環境を整える。



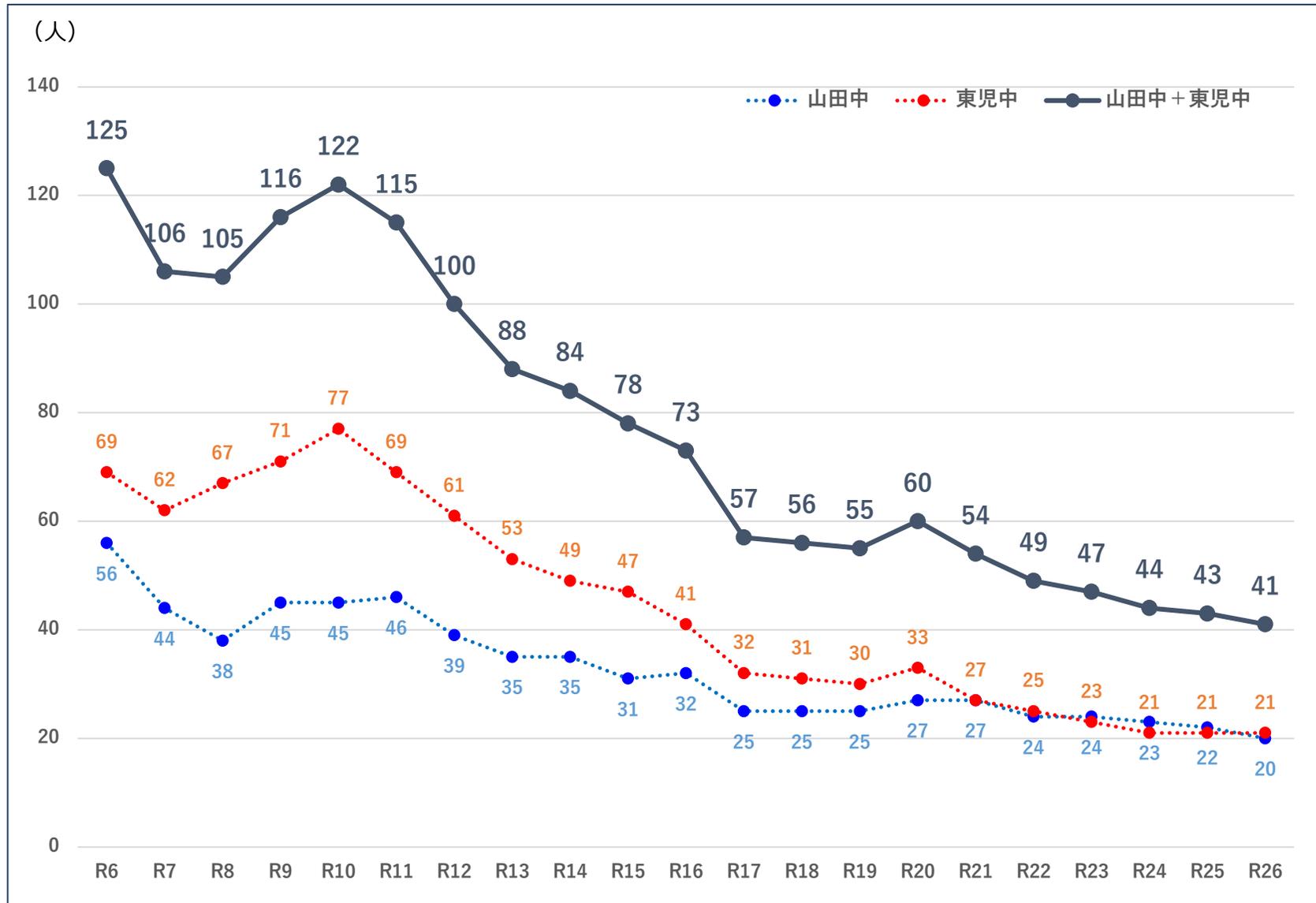
【ハード面】

計画的な改築・大規模改修、必要となる教育機器の導入など、方向性の示された学校施設や設備に集中的に経費を投入することで、教育環境の改善を図る。

山田・東兎中学校の生徒数の推計



(住民基本台帳による推計値)





山田・東見中学校の学級数の推計

■ 山田中学校

既に、全学年単学級となっており、小規模化がさらに深刻な状況となる見込み。

■ 東見中学校

既に、全学年単学級となっており、引き続き、小規模化が進む見込み。

: 全学年単学級

学校名	R06		R09		R10		R11		R16	
	生徒数	学級数								
山田中	56人	3学級	45人	3学級	45人	3学級	46人	3学級	32人	3学級
東見中	69人	3学級	71人	3学級	77人	3学級	69人	3学級	41人	3学級

具体的な再編の内容（山田中学校・東兎中学校）

●再編の時期

年 度	再編内容	位 置
令和9年度 (2027年度)	山田中、東兎中を統合する。	東兎中

●再編のスケジュール

学校名	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
山田中	→	準備委員会設置	→	↓		
東兎中	→		→	統合	→	

再編に当たっての留意点 ①

● 地域説明会で多く上がった声

「通学の距離が長い」
「道路が狭く、自転車も歩行者も危険」
「街路灯がなく道路が暗い」 など



通学路の安心・安全の確保

● 通学路の考え方

・ 通学距離の目安



区分	通学距離の目安
中学校	徒歩（又は自転車）通学路範囲 <u>原則 6 km以内</u> おおむね 6 km以上の区域は、公共交通機関又は通学用バス等を利用

・ 通学費負担

再編後の指定学校への通学費は全額市が負担します。（指定校変更制度を適用した生徒は除きます。）

・ 安全対策

危険箇所の再点検と歩道整備や街灯など道路管理者等に対する働きかけを徹底します。

再編に当たっての留意点 ②



出典：国土地理院

【再編後の学区で想定される遠距離通学範囲の目安】

 徒歩通学 又は自転車	
 バス通学	

6km以上：後閑港以西

R07年度の学校再編の動き

本年度は、学校再編に向けて、具体的な準備・開校等を円滑に推進するために再編準備委員会を設置する。

■メンバー

行政職員、学校教職員、保護者代表、地域代表など50名以内で構成

■内容

学校の名称や校歌、校章をはじめ、通学のことや制服、PTA、学校運営に関する事などについて協議する。

各部会ごとに1か月から2か月に1回程度集まって協議する。

(一例)

- | | | |
|--------|---|--------------------------|
| 総務部会 | ： | 校名、校歌、校章、式典、地域の交流等に関する事 |
| PTA部会 | ： | PTA組織の統合、制服や体操着等に関する事 |
| 学校運営部会 | ： | 学校運営、教育内容、学校間の交流等に関する事 |
| 通学安全部会 | ： | スクールバスの運行、通学路の交通安全等に関する事 |

